

環境活動レポート

令和 5 年度

(令和 5 年 10 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日)

作成日 令和5年11月 11 日

代 表 者	環境管理責任者

有限会社 小山環境美化センター

1. 事業概要

● 法人設立年月日

昭和 51 年 4 月 1 日

● 事業者名及び代表者名

有限会社 小山環境美化センター

代表取締役 上 野 明 宏

● 所在地

〒323-0154 栃木県小山市大字高椅 1 2 4 2 番地

● 環境保全関係の責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者（業務主任） 田 島 敦

電話 0 2 8 5 - 4 9 - 0 1 4 9

携帯 0 9 0 - 4 9 1 6 - 5 5 8 2

● 事業の内容

① 一般廃棄物収集運搬業（廃家電リサイクル収集運搬業を含む）

② 産業廃棄物収集運搬業

● 事業の規模

資本金 5 0 0 万円

売上高 2 1 8 百万円（令和 5 年度実績）

社員数 2 3 名

● 委託・許認可の内容

① 小山市委託一般廃棄物収集運搬業

② 小山市許可一般廃棄物収集運搬業

許可番号 小山市指令環第 1-2 号

許可年月日 令和 6 年 4 月 1 日

許可の有効年月日 令和 8 年 3 月 31 日

事業の区分 収集・運搬（積み替えを除く）小山市全域

廃棄物の種類 事業活動を伴って生じたごみ、家電リサイクル法対象品目

③ 関東運輸局認可一般貨物運送事業

④ 栃木県許可産業廃棄物収集運搬業

許可番号 0900078807

許可年月日 令和 3 年 8 月 6 日

許可の有効年月日 令和 8 年 8 月 5 日

事業の区分 収集・運搬（積み替え保管を除く）宇都宮市の区域を除く栃木県の区域

廃棄物の種類 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、
がれき類、木くず、紙くず、繊維くず

● 施設等の状況

運搬車両の種類と台数

2.10 t パッカー車	1 台
2.50 t パッカー車	2 台
1.85 t パッカー車	1 台
2.00 t パッカー車	1 台
3.25 t パッカー車	1 台
3.50 t パッカー車	1 台
3.30 t パッカー車	3 台
2.75 t パッカー車	1 台
2.85 t パッカー車	1 台
2.80t パッカー車	1 台
2.00 t 平ボディ	2 台
2.00 t 簡易クレーン	1 台
2.00 t ダンプ	1 台

敷地面積 9 7 0 m²

● 処理実績

委託一般廃棄物

種類	可燃ごみ	不燃ごみ	その他
処理量(t)	6272	280	1147

事業系一般廃棄物

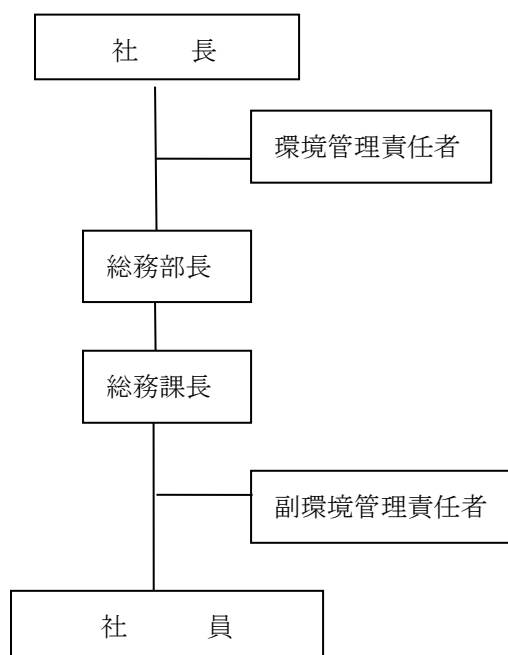
種類	可燃ごみ	不燃ごみ	有価物
処理量(t)	1014	10	212

産業廃棄物

廃プラスチック類 48t (ビニール、発泡スチロール等)

● 当社組織図

有限会社小山環境美化センター組織図



合計 23 人

社 長	・環境管理責任者を任命する。 ・環境方針を制定する。 ・活動に必要な要員、技術、資金等を準備する。 ・環境経営システムに必要な文書及び記録を承認する ・環境経営システムの全体の見直しを行う。
環境管理責任者	・環境経営システムの取り組みの実行責任者として活動を推進する ・環境への負荷及び取り組みの自己チェックを行う。 ・環境目標及び活動計画を策定し、社長の承認を得る。 ・環境目標及び活動計画の達成状況や実施状況の確認を行い、社長に報告する。 ・環境関連法規の取りまとめ、最新版の維持及び遵守状況の確認をする。 ・社外からの環境に関する苦情、要望の受付。 ・教育訓練の実行責任者。 ・文書、記録類の管理。 ・代表者による全体の評価と見直しのための情報を提供する。
副環境管理責任者	・環境管理責任者の補助。
社 員	・活動計画の担当者として実行する。 ・環境経営システムで決められたルール、取り組み事項を自発的、積極的に実施する。 ・達成状況、実施状況を把握し、環境管理責任者に報告する。

2. 対象範囲

当社は全ての組織及び全ての活動を認証登録の対象範囲としている。

3. 環境方針

環境経営方針

有限会社 小山環境美化センターは、廃棄物収集運搬業を事業とし、その事業活動において関係法令を遵守し、廃棄物の適正な収集運搬に努めると共に継続的な環境負荷の削減に取り組むことを誓約します。

1. 環境保全活動を推進する為、環境活動評価プログラムに積極的に参加し、これを運用・維持することに取り組めます。
2. 事業活動による環境負荷を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で目標を立て環境保全の改善に努めます。
3. 事業活動に係わる全ての業務に関して、以下の項目について重点的に取り組めます。
 - ① 業務車輛の燃料の消費低減
 - ② 事務所における省エネルギー・節水の推進
 - ③ 社会的な環境負荷削減に貢献する為に環境配慮型リサイクルの推進
4. 環境方針の周知及び全社員の環境意識の向上に努めます。

平成 23 年 8 月 31 日制定

有限会社 小山環境美化センター
代表取締役 上 野 明 宏

4. 環境目標

令和 6 年度から 3 年間の中期目標は以下のとおりである。

二酸化炭素 排出抑制	項 目	(基準)令和5年 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
	電気使用量の削減(kwh)	4540	4540	4540	4540
			±3%	±3%	±3%
	二酸化炭素排出量(kg -CO2)	170607.99	170607.99	170607.99	170607.99
廃棄物 排出抑制	一般廃棄物	再資源化の推進			
		(リサイクル率)	100%	100%	100%
水使用量の削減(m³)		87.5	87.5	87.5	87.5
			±3%	±3%	±3%
収集運搬車両の燃費向上		4.5	4.5	4.5	4.5
			±3%	±3%	±3%

※当社はエンジンオイル、グリス以外の化学物質の使用はありません。

※購入電力の排出係数は東京電力の 0.441 を使用した。

5. 環境活動計画

(1) 目標を達成する為の取組

①二酸化炭素排出量（省エネ・燃費向上に関する取組）

アイドリングストップ運転実施。

急発進・急加速運転防止の徹底。

事務所内空調は適切な温度管理(事務所、暖房用灯油使用量の削減)

②水使用量（節水の取組）

トイレタンク内に 500ml のペットボトルを入れて節水する。

洗車時に節水に努める。

浴室のシャワー使用時、お湯の出し放しに注意して節水に努める。

③廃棄物排出量（リサイクルに関する取組）

ゴミ箱の種類ごとに分けて排出する。

上記排出廃棄物についての数量の把握。

使用済み用紙の裏面使用。

社内記録等に関してペーパーレス化に取り組む。

(2) その他の取組

①グリーン購入への取組

作業服・事務用品等のエコマーク商品の購入。

規制基準適合車。

②地域・社会貢献活動の推進

道路清掃活動、不法投棄廃棄物の清掃活動。

契約先に対してエコアクション 21 への取り組みを表明。

同業他社への環境活動レポートの配布。

③産業廃棄物収集運搬契約先に対するゴミ分別のお願い

分別より、資源ゴミとしてリサイクル可能なことを契約先にアピール。

④ 令和 5 年 3 月 NOx&PM 適合車導入。

⑤ 令和 6 年 10 月 NOx&PM 適合車導入。

教育・訓練の実施

エコアクション 21 を適切に実施する為に、環境方針・環境目標及び必要な環境活動を全従業員に周知、徹底する。

①教育訓練を実施し、記録を残す。

②エコアクション 21 専用掲示板を取付ける。

6. 環境目標の実績

	項 目	令和2年度基準	令和 5 年度目標	令和 5 年度実績	差異	達成状況
二酸化炭素 排出抑制	電気使用量の削減 (kwh)	4540	4540	5949	+1409	未達成
			±3%		+31%	
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	165745.92	165745.92	170607.99	+4862	
廃棄物 排出抑制	一般廃棄物	再資源化の推進				達成
		(リサイクル率)	100%	100%	±0	
水使用量の削減(m³)		94.1	91	87.6	-3.5	達成
			-3%		-3.8%	
収集運搬車両の燃費向上		4.59	4.59	4.5	-0.09	達成
			±3%		-1.96%	

※購入電力の排出係数は東京電力の 0.530 を使用した。

二酸化炭素排出量推移

年	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	159588.43	166149.98	166935.31	164104.49	170607.99

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 当社における環境への負荷の低減・管理への評価

二酸化炭素排出量は、目標値に対し 2.9%の増加、電気量も 31%の増加、燃費も 1.96%の増加となってしまった。水が-3.8%削減できた。

廃棄物排出量については、前年とほぼ同様に維持できた。

(2) 環境マネジメントシステム導入の評価

法規制や環境配慮に関するチェック機能の強化等、導入により従業員の意識が向上し、行動に反映され着実に成果を挙げている。

(3) 次年度の取組内容

水の使用量は昨年度にくらべ削減できたのでこのまま努力をしていきたい。電気については適切な目標値を設定し削減に向け努力していきたい。また、廃棄物の削減及びグリーン購入のほうも引き続き取り組んでいきたい。燃費の方は悪化してしまったが引き続き、昼休みのアイドリングストップやアクセルの踏みすぎに注意して努力していきたい。それから、地域の清掃活動にも積極的に参加していきたい。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認、評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規名	対象設備等
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 家電リサイクル法 栃木県環境条例 小山市環境美化条例	一般廃棄物収集運搬事業者 (廃家電リサイクル収集運搬業を含む) 産業廃棄物収集運搬事業者
自動車リサイクル法 九都県市条例	パッカー車 12 台 平ボディ車 2 台 ユニック車 1 台 ダンプ車 1 台

当社が規制を受ける上記の環境関連法規に関して、令和 4 年 10 月 13 日に遵守評価した結果、遵守されていることを確認しました。また、関係機関からの指摘もありません。同様に、訴訟についても創業以来一件もありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

二酸化炭素排出量、電気量、燃費は前年度より増加してしてしまったが今後アイドリングストップやエコ運転に気をつけて欲しい。年々夏の暑さが厳しくなっているので体調も考えエアコンを上手に使って欲しい。

水使用量は洗車等節水に心掛けている結果だと思います。これからも節水に努めてもらえればと思う。

環境活動に取り組んでるおかげで社員一人一人が電気使用量、燃費等をいしきしている。外部での道路清掃や不法投棄の清掃活動も積極的に参加している。